

記載されている情報の正確さについては万全を期しておりますが、当会は利用者が当会の情報を用いて行う一切の行為について、何ら責任を負うものではありません。

情報カテゴリ：学術論文情報

主に該当する領域区分：全般; (高度) 急性期

タイトル：Exposure to a Surrogate Measure of Contamination From Simulated Patients by Emergency Department Personnel Wearing Personal Protective Equipment

概要：WHO/CDC より SARS-CoV-2 曝露に対する医療従事者の個人用防護具(PPE)として、N95 マスク、ゴーグル、アイソレーションガウン、手袋が推奨されているが、カバーオール、ブーツカバー、ヘアカバーはそこに含まれていない。現在の推奨されている PPE の保護能力について、気管内挿管時の飛沫曝露に関するシミュレーション (大人、小児の人体模型を使用) 実験により評価。発熱と息切れを認める 74 歳男性を想定し、気道管理と換気サポートを中心としたシミュレーションは 20 分間で、その間 2 回の咳嗽を認めた。小児に関しても同様のシナリオで実施。PPE を脱ぐ前の参加者 8 名全員に蛍光マーカーの反応を認めた (8 名:髪, 7 名:皮膚, 6 名:頸部, 4 名:靴, 1 名:耳)。WHO/CDC より推奨されている PPE を着用しているにも関わらず、露出している皮膚、髪、靴に蛍光マーカーの反応が認められた。このことより、現在の推奨されている PPE では、曝露を防止するには不十分な可能性があり、完全に皮膚を覆うタイプの PPE が必要であるかもしれない。

出典

https://jamanetwork.com/journals/jama/fullarticle/2765377?guestAccessKey=2488cf11-a09c-43ee-ad68-255a8795c0ef&utm_source=silverchair&utm_medium=email&utm_campaign=article_alert-jama&utm_content=olf&utm_term=042720

アクセス日：2020-4-28

情報カテゴリ：学術論文情報

主に該当する領域区分：全般

タイトル：Protecting healthcare workers from SARS-CoV-2 infection: practical indications

概要：医療従事者のための COVID-19 感染予防対策に関するイタリアからの報告。酸素療法や人工呼吸器デバイス別の呼気拡散距離やケース別 (対象者、場所) の PPE (個人防護具) についてまとめられている。COVID-19 は、飛沫を介して空中に飛散し、感染率はインフルエンザよりも高いと報告されている。特に、感染患者が鼻カニューレや NIV などの呼吸補助装置を使用する場合に、感染リスクが高くなるとされる。45° 傾斜したベッド座位でシュミレーター (70kg の成人男性を想定) を利用し、陰圧室で実施された SARS-CoV-2 の飛散に関するデータがまとめられている。呼吸リハ介入する上で、状況別でのリスクを把握するために重要な情報である。

出典

<https://err.ersjournals.com/content/29/155/200068.long>

アクセス日：2020-4-29

情報カテゴリ：学術団体からの情報

主に該当する領域区分：(高度) 急性期

タイトル：Australian guidelines for the clinical care of people with COVID-19

概要：COVID-19 患者の clinical care に関するオーストラリアガイドラインのサイトです。それぞれの治療介入(薬物治療や、HFNO、NIV、呼吸管理法、肺リクルートメント、腹臥位療法など)の推奨度を GRADE に沿って、5 段階に分けてまとめております。腹臥位療法は consensus recommendation(エビデンスは十分ではないが委員会としては重要と認識されるレベル)としています。

出典

<https://app.magicapp.org/app#/guideline/4179>

アクセス日：2020-4-29

情報カテゴリ：学術論文情報

主に該当する領域区分：(高度) 急性期

タイトル：COVID-19 の患者における ICU での血栓性合併症の発生率

概要：COVID-19 の 184 人の重症 ICU 患者において、死亡が 13%、退院 12%、76%が ICUstay, 標準的な血栓予防治療を受けていたが、血栓性合併症の発生は 31%であった。年齢、凝固障害、APTT 延長が血栓性合併症の独立予測因子となった。症例数はごく少数であるが、血栓性合併症により Stroke まで発症した症例あり (Table3)。

出典

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC7146714/>

アクセス日：2020-4-27

情報カテゴリ：学術論文情報

主に該当する領域区分：(高度) 急性期

タイトル：Guillain Barre Syndrome Associated with SARS-CoV-2

概要：イタリア北部の病院に COVID-19 患者が 1000~1200 名が入院した約 3 週間において、5 名が GBS を発症。初発症状は、4 名は下肢脱力と異常感覚、1 名は両側性顔面神経麻痺に続いて運動失調と感覚異常。これらの神経症候は発症から 5~10 日後に出現し、それぞれ治療が開始され、開始後 4 週の時点で、2 名は人工呼吸が必要な状態のまま、2 名はリハビリ中、1 名は歩行可能となり退院した。鑑別すべき病態は、critical illness neuropathy/myopathy であり、肺病変が顕著ではない症例で呼吸機能低下がみられる場合には GBS に伴う呼吸器症状の可能性も考える必要があることを示唆した論文。

出典

<https://www.nejm.org/doi/full/10.1056/NEJMc2009191>

アクセス日：2020-5-2

情報カテゴリ：学術論文情報

主に該当する領域区分：全般

タイトル：COVID-19 患者の PICS とリハビリテーションについて

概要：COVID-19 患者の PICS について取り上げられています。また、ICU およびその後の入院期リハの概要や注意点、外来での Virtual Rehabilitation および非感染者の健康状態を保つための Prehabilitation の導入の必要性について記載されています。

出典

https://journals.lww.com/ajpmr/Abstract/9000/Rehabilitation_following_critical_illness_in.98021.aspx

アクセス日：2020-5-2

情報カテゴリ：学術団体からの情報

主に該当する領域区分：全般

タイトル：IDSA からの感染予防策に関する推奨

概要：現時点の推奨を GRADE で評価したエビデンスレベルとともに提示しています。CONVENTIONAL Setting と CONTINGENCY or CRISIS CAPACITY Settings を分けて提示しています。

出典

<https://www.idsociety.org/practice-guideline/covid-19-guideline-infection-prevention/>

アクセス日：2020-4-30

情報カテゴリ：学術論文情報

主に該当する領域区分：全般; (高度) 急性期

タイトル：Respiratory Muscle Performance Screening for Infectious Disease Management Following COVID-19: A Highly Pressurized Situation

概要：The American Journal of Medicine のレビューアークルです。呼吸筋パフォーマンスのスクリーニングが COVID-19 感染患者の管理において重要であることを述べています。呼吸筋機能障害を伴う病態(慢性呼吸器疾患や肥満など)では、集中治療の過程において poor outcome に導かれやすい仮説のもと、呼吸筋評価やトレーニングをルーティンに行うことを management model として推奨しております。

出典

[https://www.amjmed.com/article/S0002-9343\(20\)30347-8/fulltext](https://www.amjmed.com/article/S0002-9343(20)30347-8/fulltext)

アクセス日：2020-4-27

情報カテゴリ：学術論文情報

主に該当する領域区分：(高度) 急性期

タイトル：Cost-effective canopy protects health workers from COVID infection during ventilation

概要：NPPV 使用時のエアロゾル発生リスクを増大させないための管理デバイスについての報告。NPPV は、COVID-19 患者における呼吸不全治療の第一選択となるが、使用時のエアロゾル発生による医療従事者への感染が問題になっている。電動ファンフィルター付きのプラスチック製の天蓋で感染患者の上半身を覆うことで、NPPV 使用時でもエアロゾル発生リスクを大幅に減らし、医療従事者の感染リスクを回避できる可能性がある。この装置に対する現場の医師や看護師の満足度も非常に高かった。

出典

<https://erj.ersjournals.com/content/early/2020/04/16/13993003.01017-2020>

アクセス日：2020-4-22

情報カテゴリ：学術論文情報

主に該当する領域区分：在宅期

タイトル：Managing COVID-19 symptoms (including at the end of life) in the community: summary of NICE guidelines

概要：地域における COVID-19 症状の管理（終末期含む）における NICE ガイドライン（4/3 公開）の要約です。COVID-19 患者は緊急入院を前提においた治療プランを立て、咳のある患者は背臥位を避け、苦痛を伴う場合は鎮咳剤の短期使用、呼吸困難にはポジショニングや口すぼめ呼吸などの呼吸調整テクニックが推奨されています。

出典

<https://doi.org/10.1136/bmj.m1461>

アクセス日：2020-4-27

情報カテゴリ：学術団体からの情報

主に該当する領域区分：全般

タイトル：呼吸リハビリテーションが利用できない場合の対処

概要：ATS (American Thoracic Society) に掲載されている情報です (pdf で 1 枚)。コロナウイルス (COVID-19) が原因で、多くの呼吸リハプログラムが一時的に閉鎖されている可能性があります。しかし、この間でも呼吸リハの実践は必要です。呼吸リハが利用できない場合の対処について、関連 web サイトの情報をまとめたものです (情報は海外 WEB 情報)。

出典

<https://www.atsjournals.org/doi/abs/10.1164/rccm.2020C4>

アクセス日：2020-4-27

情報カテゴリ：学術論文情報

主に該当する領域区分：全般

タイトル：COVID-19 は全身の血管に炎症（感染）を引き起こす

概要：【COVID-19 は全身の血管内皮細胞感染および炎症を引き起こす】 病理検査にて COVID-19 は全身の血管内皮細胞内にウイルス要素の存在と炎症細胞の蓄積を生じることが明らかとなった。これはいくつかの臓器の内皮炎の誘発を促進することを示唆している。これらの研究結果は、COVID-19 による血管内皮炎は様々な血管床における全身の微小循環機能障害を説明することが出来る。つまり本研究は、喫煙、性別、高血圧、糖尿病、肥満、心血管疾患などの内皮機能が脆弱な患者の重症化と関連しており、内皮を安定化させる治療法の理論的根拠を提供している。

出典

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC7172722/>

アクセス日：2020-4-27

情報カテゴリ：学術団体からの情報

主に該当する領域区分：(高度) 急性期

タイトル：COVID19 患者に対するリハビリテーションの重要性

概要：WHO のホームページにて、ロンドンの Royal Free London NHS Foundation Trust の COVID19 患者に対するリハビリテーションについて紹介されています。

出典

<http://www.euro.who.int/en/health-topics/health-emergencies/coronavirus-covid-19/news/news/2020/4/covid-19-exposes-the-critical-importance-of-patient-rehabilitation>

アクセス日：2020-4-29

情報カテゴリ：学術団体からの情報

主に該当する領域区分：在宅期

タイトル：Prevention of COVID-19 in Older Adults: A Brief Guidance from the International Association for Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania region

概要：国際老年学会アジア/オセアニアが示した高齢者における COVID-19 予防の助言がまとめられています。COVID-IAGG-AO guidance として 11 の頭文字を使った助言が示されています。内容は特別なものではありませんが、高齢者向けの日常管理指導として参考になると思われます。

出典

<https://doi.org/10.1007/s12603-020-1359-7>

アクセス日：2020-4-30

情報カテゴリ：学術論文情報

主に該当する領域区分：慢性期

タイトル：Covid-19 and COPD: A Personal Reflection

概要：COPD 患者は Covid-19 に対して非常に恐怖を抱え、すぐに死ぬと思っている人が多い印象があり、医療従事者に安心を求めている。そのために我々は在宅にいる COPD 患者の不安や疑問などに答えることは不可欠であり、そのために呼吸のプライマリーケアヘルスケアシステムを主導することが重要である。

出典

<https://journal.copdfoundation.org/jcopdf/id/1275/COPD-at-the-Time-of-COVID-19-A-COPD-Foundation-Perspective>

アクセス日：2020-4-30

情報カテゴリ：学術論文情報

主に該当する領域区分：全般

タイトル：Severe Acute Respiratory Syndrome Coronavirus 2 (SARS-CoV-2) Infection in Children and

Adolescents A Systematic Review

概要：子供と青年（0～19歳、1065名）における SARS-CoV2（COVID-19）感染に関するシステマティックレビュー（最初）です。どの年齢においても軽度の呼吸器症状（熱発、乾咳、倦怠感）か無症状で1～2週で回復すること、重症感染は1名（13カ月）に留まることが報告されています。

出典

<https://doi.org/10.1001/jamapediatrics.2020.1467>

アクセス日：2020-4-27